LEVEL 3

岳の幟（たけ　のぼり）

～別所温泉の「雨乞い」のお祭り（べっしょおんせん　あまご　まつ）～



朗読音声のダウンロード
Audio download

★読む前に　Before you read

《多読の読み方》

多読とは、とてもやさしい本から楽しくたくさん読んで日本語を身につけていく方法です。

次の4つのルールを守って楽しく読みましょう。

1. やさしいレベルから読む
2. 辞書を引かないで読む
3. わからないところは、とばして読む
4. 進まなくなったら、他の本を読む

《How to do Tadoku》

Tadoku recommends that everyone should start with very easy books and enjoy a lot of them following the 'Four Golden Rules' below.

1. **Start from scratch.**
2. **Don’t use a dictionary.**
3. **Skip over difficult words, phrases and passages.**
4. **When the going gets tough, quit the book and pick up another.**

長野県上田市に、別所温泉があります。
別所温泉では、毎年7月に「岳の幟」というお祭りがあります。
岳？幟？
「岳の幟」って、いったいどんなお祭りなんでしょう？
はてなちゃんといっしょに見てみましょう。

いっしょに見に行こう！







別所温泉

7月の中旬、はてなちゃんは、別所温泉に来ました。
旅館の主人、大田さんが、はてなちゃんを待っています。



いらっしゃい。



あ、こんにちは。はてなです。
よろしくお願いします。



大田です。どうぞよろしく。



これは何ですか。



これは幟。お祭りが近づくと、
たくさん幟を作って温泉街に
かざるんだよ。



へぇ。



のぼり
幟

りょかん しゅじん　おおた きよし
旅館の主人・大田 清さん



はてなちゃん



大田さん、「岳の幟」は明日ですね。



そう。明日は夫神岳の上で幟を作るよ。それから、幟を持って、山を下るんだよ。



「岳の幟」の岳は、夫神岳のことなんですね。でも、何でそんなことをするようになったんですか。



ここは、むかしから、とても雨が少ないところでね。雨が降らないと、田んぼに水がなくなってしまって、お米がとれない。それで、困った村人たちは、夫神岳に登って雨乞いをしたんだ。雨乞いっていうのは、「雨を降らせてください」と神様にお祈りすることだよ。



夫神岳

【「岳の幟」の始まり】

今から五百年ぐらい前、一五〇四年（室町時代）に、雨が降らない日がずっと続いて農民たちは困りました。それで、別所温泉の奥にある夫神岳に登って、「雨乞い」をしました。

すると、天から龍が下りてきて、夫神岳の頂上から、真っ黒い雲が出ました。そして、どっと大雨が降りました。雨は三日間降り続きました。龍はまた山をかけ上がって天へ帰っていきました。

農民たちは、とても喜びました。そして、夫神岳の頂上に、祠を建てて、反物をあげて、龗（雨を降らせる龍の神様）にお礼をしました。それが、「岳の幟」の始まりです。



真っ黒い雲と龍



夫神岳の頂上にある祠

（神様のための小さい石の家））

【幟の作り方】

幟を作るには、竹が2本必要です。竿（太くてまっすぐの竹）と、しなり竹（細くてやわらかい竹）をひもで結びます。そこに反物（着物を作るための布）をつけます。



「岳の幟」・当日

午前4時半ごろ・集合

反物や、お酒を持って、夫神岳に登ります。





※毎年7月15日に一番近い日曜日に行われます。



長い竿を持って登るのは、大変だけど、みんながんばっているよ。



わぁ。すごい。がんばってー。

5時半ごろ

夫神岳の頂上に着きました。祠の前に反物やお酒を置いて、お祈りします。



夫神岳の頂上でお祈りする





祠に書いてある漢字は何て読むんですか？



この漢字を「おかみ」と読みます

「おかみ」だよ。「雨」と「口」三つ、「龍」をあわせた漢字で、雨を降らせる神様のことだよ。

そのあと、幟を作ります。



祠の前に置いた反物で幟を作る

6時15分ごろ

幟を持って山を下ります。



8時から12時ごろ

幟を持った人たちが、山を下ってきました。



下で待っていた人たちといっしょに、行列（長い列）を作って歩きます。





行列(ぎょうれつ)は、温泉街(おんせんがい)を歩(ある)きます。
ささら踊(おど)りと三頭獅子舞(みかしらじしまい)も行(おこな)われます。



【ささら踊り・三頭獅子舞】

むかしは、「ささら踊り」と「三頭獅子舞」は、祇園祭りという別の祭りで行われていました。しかし、一九三四年から、夏の祭りとして、いっしょに行われるようになりました。



ささら踊り（花笠をつけた子どもたちの踊り）





三頭獅子舞（雄獅子２頭と、雌獅子１頭の踊り）



12時ごろ

行列が別所神社の鳥居まで来ました。





階段(かいだん)を上(のぼ)って、
最終地点(さいしゅうちてん)の別所神社(べっしょじんじゃ)に到着(とうちゃく)。



お疲(つか)れさまでした！





別所神社(べっしょじんじゃ)



別所神社（べっしょじんじゃ）



わぁ、本当（ほんとう）に雨（あめ）が降（ふ）ってきた！



はてなちゃん、ぬれちゃうよ～。
早（はや）くこっちにおいで！

雨（あめ）を降（ふ）らせてください、という私（わたし）たちの祈（いの）りが、ちゃんと神様（かみさま）に届（とど）いたようです。
雨（あめ）で幟（のぼり）もびしょびしょにぬれてしまいました。



「岳の幟」のこと、わかったかな？



はい。
雨が少なくて困った人たちが、一生懸命に生きようとしていたことが分かりました。
雨を降らせてくれた神様へのお礼の気持ちから、「岳の幟」が生まれたんですね。
今日は、ありがとうございました。
これからもこのお祭りを大事にしたいです。





はてなちゃんのおすすめ：マンホール

別所温泉のマンホールには、「岳の幟」の絵が描いてあるよ。

とってもかわいいので、ぜひさがしてみてね。



【写真提供】
・別所温泉観光協会 p.6 p.7（上） pp.8-10 p.11（上）
・塚越紗衣　上記以外

発行日：2026年 11 月15 日

- 文と挿絵：塚越紗衣（つかごしさえ）
  （NPO多言語多読準会員、日本語講師）
- 監　修：NPO多言語多読
- 協　力：別所温泉観光協会　滝沢一秀
  別所神社　神社総代長 岳の幟保存会・古平昭一



©NPO Tadoku Supporters

TADOKU Supporters NPO多言語多読

tadoku.org

この作品はクリエイティブ・コモンズ表示–非営利–改変禁止4.0国際ライセンスの下に提供されています。
This book is licensed under CC BY-NC-ND 4.0
https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/